

表2 山形県立3病院の医療情報システムをめぐる経緯

2007年3月	山形県病院事業中期経営計画を策定
2008年2月	県立病院医療情報化基本構想を策定。各病院の医療情報を一元化して集中管理、統合運用する方針を定める
2009年8月	山形県がアクセントと県立病院の医療情報システム整備運用業務の委託契約を締結。契約額は約18億円
2010年9月	債務不履行によりアクセントとの契約を解除
2012年1月～	県立中央、河北、新庄の各病院に電子カルテを導入、2013年12月までに順次稼働
2015年	メーカー、ベンダーに対して県立3病院の医療情報システム更新に関する提案を要請
2017年2月	県立3病院に共通パッケージソフトを個別に導入することを決定
2017年10月	山新グループのYCC情報システムが県に公開質問状を提出。「システム更新計画から弊社を排除している」と非難
2018年1月	山形新聞が医療情報システムの統合を批判する連載記事を掲載
2018年3月	県がNECと3病院の医療情報システム更新で37億円の随意契約